

# モンゴルと日本のオープンイノベーション・共創プログラム

# MICS2024

(Mongolia Open Innovation and Co-creation for SDGs 2024) のご案内



### MICS2024とは?

### 名称

<u>M</u>ongolia Open <u>I</u>nnovation and <u>C</u>o-creation for <u>S</u>DGs 2024の略称。

### 実施の目的

モンゴルと日本の社会課題の解決及びSDGsの達成に向けて、両国の産官学金の幅広い関係者が、技術、アイディア、資金等を持ち寄り、イノベーティブな解決策を共創し、協働で取り組むことを促進するため。

### 参加対象者

日本とモンゴルの、企業(スタートアップ含む)、NGO、研究機 関、高等教育機関(大学、高専など)、自治体・公的機関、金融機 関、個人等

### 実施期間

2024年6月~2025年2月





### 社会課題とSDGs

# **Prosperity**



途上国において経済成長の基礎や原動力となる 質の高いインフラ整備や安定的なエネルギー供給、 産業の育成や農民の生計向上などを支援。 持続可能かつ強靭で豊かな社会を実現します。

- 都市·地域開発
- 2 運輸交通
- **③ 資源・エネルギー 🚺 民間セクター開発**
- 農業・農村開発(持続可能な食料システム)

### People 人々



すべての人々に、安定的な保健医療サービスや 感染症対策、栄養の改善、質の高い教育などを支援。 子ども、障害者等の脆弱者が包摂され、 誰ひとり取り残さない社会を実現します。

- 7 栄養の改善
- 8 教育
- 9 社会保障・障害と開発
- 10 スポーツと開発

# 1 貧困を なくそう









SUSTAINABLE GALS
DEVELOPMENT GALS







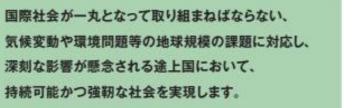












- 17 自然環境保全
- 18 環境管理
- 19 持続可能な水資源の確保と水供給
- 20 防災・復興を通じた災害リスクの削減

### Peace





自由、民主主義、基本的人権の尊重、法の支配といった 普遍的価値を共有し、安定・安全が確保された平和で 公正な社会を実現します。ジェンダー平等を推進し、 デジタル技術を課題解決に活かします。

- 11 平和構築
- 12 ガバナンス
- 13 公共財政・金融システム
- 14 ジェンダー平等と女性のエンパワメント
- 15 デジタル化の促進

### **Planet** 地球

















### MICS2024のスケジュール

### 5月27日頃 6月11日イベントの ご案内

・参加申込みのご案内

### 8月19日 日本モンゴル

ビジネスフォーラム @ウランバートル市

- ・15の協働プロジェクト候補がピッチを行 い、審査を経て、10の協働プロジェクトを 選定
- ・来場者とネットワーキングを行い、チー ムへの参加を促進

#### 6月11日

オープンイノベーション・ 共創イベント @ウランバートル市

- ・ブース展示(会場:約50ブース・オンラ イン:約10ブース)
- ・他のブース展示者及び一般参加者が協働 プロジェクト(チーム)を形成、提案準備

#### 8月~

協働プロジェクトの 活動の実施 @日本、モンゴル

・JICAを含む関係者からのメンタリング等 の支援を受けて、10の協働プロジェクトを 実施

### 6月16日頃 協働プロジェクトの 提案締切り

- ・協働プロジェクトの提案の提出
- ・6月21日頃に、15件の協働プロジェクト 候補の選定結果の通知

### 11月上旬 中間報告会

- ・10の協働プロジェクト(チーム)がピッ チ (中間報告)
- ・来場者とネットワーキングを行い、チー ムへの参加を促進

# 8月5日

オープンイノベーション・ 共創イベント @東京

・15の協働プロジェクト候補がピッチ、ネ ットワーキングを行い、チームへの参加を 促進

### 2025年2月上旬 最終報告会

- ・10の協働プロジェクト(チーム)がピッ チ (最終報告)
- ・審査を行い、優秀プロジェクトを表彰
- ・来場者とネットワーキングを行い、チー ムへの参加を促進



# MICS2023の概要・実績①

### 多くの参加者

2023年8月17日開催のキックオフイベント(オープンイノベーショ

ン・共創イベント@ウランバートル市)は、応募者:ブース出展390名、一般参加438名

参加者:ブース出展58名(応募者から選出)、一般参加256名

この結果、91の協働プロジェクトが提案された。

### 協力機関の拡大

モンゴルの教育・科学省、デジタル開発・通信省、経済・開発省から後援を得られた。

KDDI、モンゴル貿易開発銀行(TDB)、SOS Medica Mongoliaから、個別の協働プロジェクトに対して資金的な支援が行われた。スタートアップ関連では、現地の、Innovation Hub、Moffice、Mstarsといったスタートアップ支援機関、 MCS Investment、TESO Investment、Ri Cycleといったベンチャーキャピタルが参加。

日本からは、Plug and Play Japan、渋谷スタートアップ、五反田バレー等も参加した。

### メディア等での掲載

モンゴルのマスメディアであるMNB、MNB World、Montsame、 lkonや、有名インフルエンサーのSNS等でとりあげられた。





### MICS2023の概要・実績②

### 協働プロジェクトへの支援

モンゴルー日本間の渡航費の一部を支援。メンタリング、技術支援等も実施。

### 協働プロジェクトの成果

10の協働プロジェクトのうち7つが、JICA以外の国内外のイベントへの参加を通じて365万円の外部資金を獲得する等、高い評価を得た。

モンゴル国内: MON X(特別賞)、She Loves Tech Mongolia(優勝、3位)、Falling Walls Lab Mongolia(入賞)、FRC Mongolia Financial Innovation Competition(3位)

海外: Shibuya Creativetech Popup Day(日本)、Global Falling Walls Lab competition(ドイツ)、She Loves Tech 世界大会(シンガポール)、国連気候変動枠組条約COP28 Youth Delegate(アラブ首長国連邦)





# MICS2023の協働プロジェクト

協働プロジェクト名	分野	概要
3D printing with plastic waste	環境	3Dプリンターを活用した廃棄プラスチックのリサイクル製品の開発。
1000 Students, 1000 Part-time Jobs	雇用創出	モバイルアプリを通じた学生アルバイト向け求職プラットフォームの構築。
EDU-MICS	教育	公立学校における教育のDX化による教育環境の改善。
Healthy Parents' Healthy Kid	保健	適切な情報に基づいた市民向け保健教育オンラインコンテンツの開発。
Intelligent Traffic Monitoring	交通渋滞等	機械学習を活用し、ウランバートル市の交通状況と農業栽培のモニタリング。
Organic Mushroom	農業、環境	廃棄する羊毛を用いたオーガニック肥料の開発。
Mongolian Eco Construction	環境	木製の防雪フェンスの設置による交通への降雪による影響の緩和、 森林保護、家畜保護。
Call Pro Agent	雇用創出、障害者支援	車椅子協会と連携し、地方都市にコールセンターを設置し、 女性、障害者を雇用。
Argal Paper	環境	牛糞などの廃材を素材とする環境にやさしい紙製品の生産。
QPARKING	交通渋滞	ウランバートル市内の駐車場にEV充電スタンドを設置。 渋滞解消を目的とした携帯アプリの開発。



# 協働プロジェクト 事例①

### 協働プロジェクト名(分野)

3D printing with plastic waste (環境)

#### チームメンバー

- Inmo studio
- Hyborg
- •川崎助教授(東北福祉大学)
- ・JICA海外協力隊(理学療法士及び作業療法士)8名

### 協働プロジェクト概要

3Dプリンター技術を活用した、廃棄プラスチックのリサイクル素材の製品の開発。

### 活動内容

廃棄プラスチックから3Dプリンター用のリサイクル素材を生産し、3D プリンターを用い、装飾品を制作。

3Dプリンターで制作したリサイクル素材のフェイスマスク等とAR(拡張現実)技術を組み合わせた展示会を開催。

3Dプリンターで制作したリサイクル素材のリハビリ用の装具(Ankle Foot Orthosis)を試作。

### 成果等

- ・教育・科学省開催のMON Xで特別賞200百万MNT(約100万円)獲得。
- ・MICS最終ピッチで優勝
- ・KITE社から200百万MNT(約100万円)獲得。
- ・She Loves Tech Mongoliaで3位入賞。
- · Shibuya Creativetech Popup Day出場。
- ・ウランバートル市内で単独展示会を開催







# 協働プロジェクト 事例②

### 協働プロジェクト名(分野)

Call Pro Agent(雇用創出、障害者支援)

### チームメンバー

- CallPro Agent LLC
- Tab Solution Co,LTD
- ・モンゴル車椅子協会

### 協働プロジェクト概要

モンゴル車椅子協会及びコールセンター事業会社の協業による地方での 障害者の雇用創出。

### 活動内容

ブスグル県ムルン市のオフィスをコールセンターにリノベーションし、 3か月の研修を行い、9名の女性がフルタイムでテレフォンオペレーター として勤務を開始。障害者の就労についても、環境整備と採用手続きを 実施済。

### 成果等

She Loves Tech Mongoliaで優勝し、シンガポールで開催された世界大会に出場。







# 協働プロジェクト 事例3

### 協働プロジェクト名(分野)

Healthy Parents Healthy Kids (保健)

### チームメンバー

- Songinokhairkhan General Hospital
- Eclinic LLC

### 協働プロジェクト概要

貧困者の多いゲル地区に所在する公立病院とモンゴルのICT企業の協業による、適切な情報源に基づいた市民向け保健教育コンテンツの開発。

### 活動内容

母乳育児や公衆衛生について、スマートフォン等で視聴可能な動画を8本作成。公開済の動画6本は47,000回視聴された。

### 成果等

KDDIからの資金的な支援15百万MNT(約65万円)を獲得。同社子会社であるモンゴル通信大手Mobicomの動画サイトにて放映予定。







# 今後の主な予定

年月	MICS	MONJA、DXCUP等	年月	MICS
2024年4月		4/1:【MONJA】募集開始	2024年10月	(協働プロジェクトの活動)
2024年5月		5/19:【MONJA】応募締切	2024年11月	上旬:中間報告会
<b>2024年6月</b> (6/28:モンゴル 国会総選挙)		(【MONJA】アクセラレーションプログラムの実施)	2024年12月	(協働プロジェクトの活動)
<b>2024年7月</b> (7/10-15:ナーダム休暇)		(【MONJA】アクセラレーションプログラムの実施)	2025年1月	(協働プロジェクトの活動)
2024年8月 (8/17、18:ジャパンフェスティバル、 8/19:日モビジネスフォーラム)	· ## / / / / / / / / / / / / / / / / / /	ーラムもしくはその前後のイ	<b>2025年2月</b> (モンゴル旧正月)	上旬:最終報告会
2024年9月	(協働プロジェクトの活動)	9/1:【DXCUP】募集開始	2025年3月	

MONJA、DXCUP等

(【DXCUP】メンタリング)

(【DXCUP】メンタリング)

上旬:【MJEED】産学連携セ

12/7: 【DXCUP】最終ピッチ

ミナー (@東京)



# 最後に

### MICS2024の事前案内

https://www.jica.go.jp/information/event/1537388\_23420.html

### MICS2023の結果概要

1. キックオフイベント(オープンイノベーション・共創イベント@ウランバートル市)

https://www.jica.go.jp/information/seminar/2023/20230831.html

2. 中間報告会 <a href="https://www.jica.go.jp/information/seminar/2023/1527102\_36701.html">https://www.jica.go.jp/information/seminar/2023/1527102\_36701.html</a>

3. 最終報告会 <a href="https://www.jica.go.jp/information/seminar/2023/1530794\_36701.html">https://www.jica.go.jp/information/seminar/2023/1530794\_36701.html</a>

4. 動画 <a href="https://www.youtube.com/watch?v=v1xXZJMDE24">https://www.youtube.com/watch?v=v1xXZJMDE24</a>

### JICAモンゴル事務所facebook



